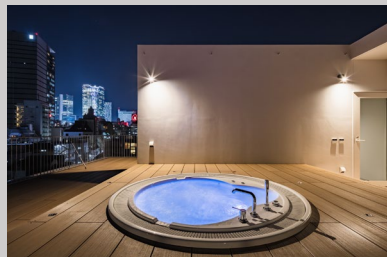


## 高級賃貸レジデンス「THE DOORS」(渋谷区神山町) 2月竣工 ～他にはない魅力的な居住空間を創出し、新たな価値を提供～



当社の主カブランドである高級賃貸レジデンス「THE DOORS (ザ・ドアーズ)」シリーズは、第2号案件(渋谷区神山町)を2021年2月に竣工しました。渋谷区の閑静な邸宅街の一角にある本物件は、120㎡以上のタイプとし、各住戸ともに南側の明るいリビングと北側の豊かな緑を享受できる落ち着いたリビングという性格の異なる2つの空間構成と魅力ある景観形成を図っています。また、各住戸へのダイレクトアクセスを実現したことで高いプライバシーを確保し、住戸の独立性を高めています。最上階においてはルーフテラス付きプレミアムペントハウスとし、中庭から屋上へ直接アクセスできる階段を設け、渋谷の街を眺めながらウッドデッキやジャグジーが利用できる住戸としています。



## テレワーク対応型の賃貸レジデンス「K BRIDGE ASAKUSA」 3月竣工 ～「仕事空間」と「生活空間」を兼ね備えた多様な住空間を創出～



テレワークを想定した賃貸レジデンス「K BRIDGE ASAKUSA（ケーブリッジアサクサ）」を2021年3月に竣工しました。本物件は、都営浅草線「浅草駅」と都営大江戸線「蔵前駅」の2路線が利用可能な利便性の高い立地に位置し、単身及びDINKSを主なターゲットとするオール1DKタイプの賃貸レジデンスです。コロナの影響により在宅ワークが浸透し住まい選びの基準が多様化するなか、「仕事空間」と「生活空間」を兼ね備えた「職住融合」という新たな生活スタイルに注目が集まっています。このような消費者ニーズの変化に伴い、本物件は都内におけるいわゆる1ROOMマンションの標準タイプとされる面積：25㎡というコンパクトなサイズながらも居住者のライフスタイルや使用用途によってフレキシブルに居住空間を使い分けることができる可変性のある空間設計を実現しました。





## テレワーク対応のセキュリティを分譲マンションに初導入 「ラ・アトレレジデンス室見公園」 （福岡市早良区） 3月竣工



分譲マンション初となるテレワーク対応のセキュリティを備えた「ラ・アトレレジデンス室見公園」（福岡市早良区）を2021年3月に竣工しました。コロナの影響により在宅勤務が浸透する中、セキュリティ対策においてはコンピューターウイルスに感染しても外に情報を出さない出口対策の強化が重要課題の一つとなっています。こうした状況を踏まえ、本物件においてはサイバー攻撃や不正アクセスに対処できる強力なセキュリティサービスを導入することといたしました。同サービスはハッカーが使用するC2サーバへの不正通信を自動で検知・遮断する出口対策の「DDH BOX」によって不正アクセスを防ぎ企業機密情報の漏洩を防止します。このようなセキュリティ対策の徹底によりテレワーク環境においてもオフィス環境と遜色ない安心・安全な環境を構築しています。また、仕事に集中できる場所を確保したいというニーズに対応し、テレワークに適したワークスペースを設置した間取りプランも提案しています。



## 1億円以上のプレミアムリノベーションマンションの販売が好調に推移 ～ キーワードは「都心一等地」「100㎡の広さ」「上質」～



「300Million-Renovation」

中古マンション市場の活況が続く中、2021年1月～3月の首都圏中古マンションにおける成約件数及び成約価格は前年同期を上回り（※）、依然として上昇基調で推移しています。このような環境下、当社においても同期間における戸別リノベーションマンションの販売が好調に推移しました。当社が取り扱うリノベーションマンションは、「都心一等地」「100㎡の広さ」「上質」をキーワードとした1戸1億円以上の高価格帯を主力とし、販売価格帯別に「100Million-Renovation」「200Million-Renovation」「300Million-Renovation」としてシリーズ展開しています。港区、千代田区、渋谷区といった都心3区かつ100㎡超の専有面積の広さに主眼を置き、富裕層をターゲットとするプレミアム領域に特化することで3000万前後を扱う一般的な同業他社とは一線を画し独自の競争優位性を築いています。

※東日本不動産流通機構調べ



「200Million-Renovation」



「100Million-Renovation」